



# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第68号 平成21年1月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 三輪中学校 宿泊学習での森林整備活動

・今年も新たな挑戦！森林の活動（1月14日、15日）

## ○今年も新たな挑戦！森林の活動

1月14日（水）15日（木）に岐阜ファミリーパークの森林で、三輪中学校1年生の森林整備活動が行われました。その森では、一つ大きな発見がありました。それは、カシノナガキクイムシの被害にあったアベマキやコナラを伐採したところ、見事に**萌芽更新を始めた**ことです。放置すればただ枯れてしまう樹木が、このような形で命の再生を果たしました。長年手入れされず、高齢化が進んでいた森が、三輪中学校生徒の活動により徐々に若返り始めてきたのです。今後、どのように変化していくのか、また一つ大きな楽しみが見つかりました。

そのような森で今年も三輪中学校では、新しい試みを行いました。まず、1つ目が枝打ちはしごの体験です。人工林を整備する上で必要な冬の枝打ち作業。その作業には、はしごを登って高所の枝を切る必要があります。しかし、そのはしごを登ること自体がなかなか大変です。グループのみんなが見守る中、順



アベマキの切株から萌芽更新の芽が出てきています！！



枝打ちはしごに挑戦中



原木の利用方法について説明を受けました

番にはしごを登っていきました。一番上まで登ると約4.5mあり、かなりの高さを実感します。そのような場所で作業をすることの難しさを体感できたのではないのでしょうか。

もう1つが、**食育にも繋がるキノコ作りの挑戦です**。秋に伐採したコナラやアベマキを天日で乾燥させたものにドリルで穴あけ、キノコの菌を埋め込んでいきました。初めての取り組みということもあり、今年は比較的栽培がしやすいといわれるナメコの菌を打つことにしました。この原木からキノコが出るまでには、約2年かかります。整備活動に取り組んでいる1年生が卒業する年の秋には成果が見られるでしょう。非常に楽しみです。

また、今年もカシノナガキクイムシの被害が見られる大木の伐採を行いました。生徒達が二方向からロープを引っ張りながら弱ったコナラやアベマキの大木を切り倒しました。切株から新芽が吹き出してくれるとよいのですが。

## ○おわりに

三輪中学校の森林整備活動も4年目となり、やっと目に見える成果が現れ始めました。地道な活動を続けてきた賜物です。「**継続は力なり**」と言いますが、その



尾根付近の人工林の間伐にも着手しました。間伐がすすめば、森全体が明るくなるでしょう。

事を実感せずにはいられません。これからも三輪中学校の森林環境学習が少しずつ、そして確実に幅を広げて行くと共に、その取り組みが生徒たちの生きる力となって欲しいものです。



今年から、伐採した樹木を原木として、キノコ作りに挑戦しました。実りを見るのは2年後の秋～冬です。さあ～どうなることか・・・



カシノナガキクイムシの被害にあいそうなアベマキの老木をロープで引っ張りながら伐採していきました。萌芽更新して若返りができればいいですね。

## 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL : 058-265-4141 (内線：6452) FAX : 058-267-1374

E-mail : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」:

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ : <http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>